

2022年度 春季TEA's English集中プログラム募集要項

「2022年度 春季TEA's English集中プログラム」（以下、「本プログラム」という）は、東北大学高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンターの東北大学イングリッシュアカデミー（Tohoku University English Academy: TEA）が開講する短期集中型プログラムです。

本プログラムは、神田外語大学の日本人教員とネイティブ教員による語学指導方法を基に、TOEFL iBT®スコア向上を目的とした対策講座と、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4技能を総合的に鍛える講座を約2週間（計10日間）の短期間に集中して開講するものです。海外の大学・大学院への留学や研究、国際社会で働く際に必要とされる英語力の習得を目指すプログラムです。

1. 募集内容

講座名： ① TOEFL iBT® Score Up Course (日本語)

② Practical English Course (英語)

募集対象： ①② 全学生（学部・大学院学生）

※ ①②ともに非正規生（= 学位取得を目的とせず本学に在籍する学生、研究生、科目等履修生、特別聴講学生、特別研究学生等）は除きます。

受講基準：

講座名	受講基準
① TOEFL iBT® Score Up Course	TOEFL iBT 80点以上を目指す学生が対象
② Practical English Course	学術的なテーマが決まっている学生が望ましい

※ TOEFL ITP®テスト未受験者でも応募は可能です。

※ TOEFL iBT® Score Up CourseはTOEFL iBT®の受験経験があるとより講座の理解が深まります。

※ Practical English Courseでは、学部や大学院において研究テーマが決まっている、または研究したい学術的なテーマがある学生が望ましいです。（テーマが無くて構いません）

開講期間： ④ 2023年3月6日(月)～3月17日(金) ※土日を除く10日間

① 2023年2月17日(金)～3月3日(金) ※土日・2/23(木)の祝日を除く10日間
(TOEFL iBT® Score Up Courseは開講期間が変更になりました)

② 2023年2月9日(木)～2月22日(水) ※土日を除く10日間

受講方法： オンライン受講

※ 授業はZoomミーティング (<https://zoom.us/>) のアプリケーションにより実施いたします。

ます。

なお、受講環境については受講者が各自で準備することになります。

受講回数： ① 1日4レッスン(1レッスン50分)×10日間(全40レッスン)

② 1日4レッスン(1レッスン45分)×10日間(全40レッスン)

受講時間： ① 10:00-10:50, 11:00-11:50, 13:00-13:50, 14:00-14:50

② 10:00-10:45, 11:00-11:45, 13:00-13:45, 14:00-14:45

定員： 各20名(①・②共通)

受講料： 5,000円(①・②共通)

※ お支払い方法については、結果通知後にご案内いたします。

※ TOEFL iBT® Score Up Course受講者は、別途下記のテキスト代がかかります。

「Official TOEFL iBT Tests Volume 1 4th Edition」 5,500円(予定)

講座概要： 最終頁の別紙を参照

2. 応募期間・応募方法及び結果通知（受講可否）

応募受付期間： 2023年1月6日(金)～1月20日(金) 正午(先着順)

※ 受付期間内であっても、定員に達した後の申込みについてはキャンセル待ち扱いとなります。また、受付期間内に募集を終了する場合があります。

※ 定員に達しない場合は、受付期間後も申込みを受け付ける場合があります。

応募方法：以下のオンライン申請フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/9q2tRwazvYpkYBCLA>

こちらのQRコードをご利用ください ⇒



※ 希望講座を選択してください。（第2希望がない場合は、第1希望のみで構いません）

※ 申請フォームからの送信は1度のみとし、複数回送信しないでください。

応募条件：原則として受講する講座すべてのレッスンへの参加が応募の条件ですが、応募の段階で、どうしても参加できない日時がある場合は、下記8の問合せ先へ事前にメールでお知らせください。

結果通知：受講可否・受講講座の通知日：2023年1月24日(火) 予定

通知方法：全申込者（申請フォームに入力したメールアドレス宛）にメールにて通知します。

※ 通知のタイミングは上記日程から前後する可能性があります。ご了承ください。

※ 通知日を過ぎても連絡がない場合には申込みが正しくできていない可能性がありますので、その際は下記8の問合せ先までご連絡ください。

3. プレイメントテスト

2022年度 春季TEA's English集中プログラムでは事前のプレイメントテストは実施いたしません。

4. 学習効果測定について（受講前・受講後）

Practical English Course受講者のうち、希望者(10名)を募り、プログラム受講前・受講後に学習効果測定のテストを実施します。テストはTOEFL® Practice Online Speaking and Writing Testになり、受験料は東北大学が負担します。受験希望者は申請フォームの「希望する」の欄にチェックを入れてください。詳細は1月24日(火)の結果通知後、テスト受験者へ登録頂いたメールアドレスにご案内をお送りしますが、以下の概要をあらかじめご確認ください。

(定員を上回る希望を頂いた際は先着順となりますので、予めご了承ください)

※ 受験が決まりましたら、必ず受講前・受講後の2回受験して頂き、スコアをお送り頂きます。

※ オンラインでの受験になりますので、下記期間内のご都合の良い時に各自で受験して頂きます。

- ・ 受講前受験予定日：1月24日(火)～2月1日(水)を予定（多少前後する可能性があります）
- ・ 受講後受験予定日：Practical English Course終了次第（あらためてご連絡いたします。）

※ ご自身で以下の環境が準備できるかご確認ください。

- ・ Windows8以上もしくはMac OS X 10.11以上のコンピュータ
- ・ 最新のインターネットブラウザ
- ・ 音声入力、出力ができるもの（ヘッドセット・内蔵マイク等）
- ・ インターネットへの安定接続環境

5. 受講決定後の注意事項

TOEFL iBT® Score Up Courseのテキストの購入方法については、受講決定後にご案内いたします。

6. 募集説明会について

「2022年度 春季TEA's English集中プログラム」のオンライン募集説明会を下記の通り実施します。

ご興味のある方は、下記Zoomリンクからアクセスしてください。

※ 開催日時：2023年1月11日(水) 12:20-12:50

【Zoomリンク】

<https://zoom.us/j/98281943860> こちらのQRコードもご利用ください ⇒

ミーティングID: 982 8194 3860



7. 個人情報の取り扱いについて

本プログラムへの申込みに際し、申請フォームに入力された個人情報は、運営担当である神田外語大学と国立大学法人東北大学との取り決めにより、手続きや本プログラムに関する各種連絡等の目的でのみ利用します。提供されない情報がある場合、手続き・サービスの提供等に支障が生じることがあります。

8. 本募集に関するお問合せ

神田外語大学 産官学・地域連携部 連携支援チーム

TEL : 043-273-1285

E-mail : renkei-shien@kanda.kuis.ac.jp

受付時間 : 9:30~17:30 ※土日祝日を除く

※12月24日(土) ~ 2023年1月4日(水)は事務局閉鎖期間となります

別紙

① TOEFL iBT® Score Up Course (日本語)

このコースではTOEFL iBT® で各学生の目標点に到達できるテストへの取り組み方を学ぶだけでなく、TOEFL iBT® 対策の準備を通して、英語圏での大学の授業で必要とされる英語4技能能力を向上させることを目的としています。具体的には以下の点につき、英語能力を高めるべく指導を行います。

1. TOEFL iBT® 等4技能型試験の点数を上げるためのテクニカルな指導
2. 4技能型試験受験準備を通して論理的なアウトプット能力の習得
3. 英語圏の大学の授業についていけるためのReading/Listening力の向上

② Practical English Course (英語)

このコースでは以下の3つの学術的な英語力を身につけることを目的とします。

1. 様々なテーマ、トピックについて議論できる力
2. 様々な学術的なテーマについてプレゼンテーションができる力
3. 様々な学術的なテーマについての簡単な研究報告やレポートが書ける力

このコースは海外の大学での学習や日常生活におけるさまざまな場面で求められる英語運用能力を身につけるものです。特に留学先の大学では学生は英語のテキストや文献、ジャーナルを読み、英語でディスカッションをして、プレゼンテーションをします。さらに英語の研究報告やレポートを作成することが求められます。このコースではそのような場面を想定して、学生が先生や他の学生と英語でコミュニケーションをすることで、留学先で大学での「Study Skill」の獲得を目指します。